



## ロータリー家族の絆

ロータリーは草の根運動です。  
 そのためには、家族との絆、地域との絆、各NPOとの絆が大切ですと、私は公式訪問の折に、お話ししてまいりました。  
 多くの人々は、時間に追われる忙しい毎日を送っていらっしゃいます。今や共働きも当り前の世の中、ロータリアンの多くも仕事と家庭の両立に奮闘されています。昨今は、家庭の中、家族の中にも難しい問題がたくさんございます。子どもの教育、しつけ、青少年と学校の関係、社会との関りの問題、夫婦の問題、高齢者の問題……。まもなく4人に1人が高齢者になる時代が訪れます。家族の中でお年寄りの存在をどう考えてゆくのか、一方、心の欠如、絆の欠如から起こる青少年の犯罪、子が親を、親が子を殺め、はたまたいじめによる自殺の連鎖。このような新聞をにぎわす日々の問題に、ロータリアンとしてどう関わっていくのか。自分の子が、孫が、いつ当事者になるとも限らない社会が目の前にあります。

まず自分の足許の家族の絆から考えてまいりましょう。家族を通して私たちができること、配偶者、子ども、そこから広がって兄弟、インターアクト、ローターアクト、青少年交換留学生、親善奨学生、私たちのまわりには、ロータリー家族と呼べる人々がたくさんいらっしゃいます。この方々との絆を深め、地域の各団体とも交流を深め、皆にRCをご理解いただき、共に活動を行ってゆくの理想です。

そのひとつの単位が家族です。助けあって、温かいふれあいがあって、団結があってこそその家族。この家族月間にぜひ一度、共に見つめ直してみよう。ロータリークラブの未来を考えるうえで、家族の絆は大切なことだと存じます。

国際ロータリー第2650地区

ガバナー 平井義久

